

道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト

道央広域連携地域

【概要・目的】

ジオパークを有する5つの地域が連携し、各種取組を推進することで、地域の魅力向上や交流人口の拡大を図る。

【施策展開】

これまでの主な取組実績

- 各地域におけるジオパークを活かした特色ある取組の促進
 - ・「北海道ジオパーク探検スタンプラリー2016」の実施(振興局)
 - ・ジオパーク認定メニュー等の紹介や食材カードの作成(市町村・民間)
 - ・アポイ岳ジオパーク推進事業(ジオパークガイドの養成、PR、住民学習会等)の実施(振興局)
 - ・「ジオパークフェア」におけるパネル展示の実施(市町村・民間)
- 道内ジオパーク間のネットワークの構築
 - ・道内ジオパーク事務局長事務調整会議の開催(市町村・民間・道)
- 道内ジオパークの連携による地域の魅力発信・交流人口の拡大
 - ・ホームページ等での情報発信(振興局)
 - ・関係振興局間の連携により、北海道内5つのジオパークの魅力をもとめて紹介するパネル展の実施(振興局)

今年度の主な取組(平成29年度)

- 各地域におけるジオパークを活かした特色ある取組の促進
 - ・NEXCO東日本との連携による「北海道スマホスタンプラリー」への「北海道ジオパーク賞」の設定(振興局)
 - ・パンフレットの配付やホームページでの情報発信(振興局)
 - ・ジオパーク認定メニュー等の紹介や食材カードの作成(市町村・民間)
 - ・道内5つのジオパークの総合的なPR資料の作成・検討(振興局)
- 道内ジオパーク間のネットワークの構築
 - ・道内各ジオパーク間のネットワーク構築に向けた取組の検討(市町村・民間・道)
- 道内ジオパークの連携による地域の魅力発信・交流人口の拡大
 - ・アポイ岳ジオパークを含む広域観光ルートの検討(振興局)
 - ・ホームページ等での情報発信(振興局)

今後の取組を進める上での主な課題

- 各地域におけるジオパークを活かした特色ある取組の促進
 - ・地域振興・観光振興のための人材育成・確保
 - ・地域内外における認知度の向上と機運醸成
- 道内ジオパーク間のネットワークの構築
 - ・平成30年に様似町で開催予定である、ジオパーク全国大会における地域での連携した対応
 - ・関係振興局、関係市町の連携強化
- 道内ジオパークの連携による地域の魅力発信・交流人口の拡大
 - ・アポイ岳ジオパークの日高管内の他の観光資源との結び付け
 - ・ホームページ更新頻度の向上

【KPIの状況】

	H26(基準)	H27	H28	H29	H30	H31(目標)
ジオパーク構成市町への観光入込客数	8,228千人	9,175千人 <進捗率> 94.8%	9,113千人 <進捗率> 94.2%			9,675千人

道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト

道央広域連携地域

【施策展開】

次年度の取組(平成30年度)

■各地域におけるジオパークを活かした特色ある取組の促進

- ・道内ジオパーク地域の小学生を対象としたジオパーク学習交流会の開催(振興局)
- ・パンフレットの配付やホームページによる情報発信(振興局)
- ・サイクリングマップ等案内資料の製作(市町村)
- ・ジオパークの魅力を発信するツアーや関連商品等の造成・磨き上げ(市町村・民間)
- ・現地学習会や企画展の開催(市町村)
- ・小中学校への火山マイスターの派遣による減災教育の実施(市町村)
- ・小中高校の授業でのジオパークの紹介(市町村)

■道内ジオパーク間のネットワークの構築

- ・道内各ジオパーク間の情報共有・ネットワークの強化(市町村・民間・道)
- ・日本ジオパーク全国大会における関連ツアー等の開催(市町村)

■道内ジオパークの連携による地域の魅力発信・交流人口の拡大

- ・道内外における「胆振四大遺産」のPR(振興局)
- ・「第9回日本ジオパーク全国大会・アポイ岳大会」の開催(市町村)
- ・道内ジオパークのパネル展の実施(振興局)
- ・北海道博物館「北海道ジオパークまつり」への出展(市町村・民間)
- ・洞爺湖有珠火山マイスター制度の運営(市町村・民間・振興局)